

エホバを畏れる人はいつまでも幸せでいられる

「正直に歩む人はエホバを畏れている」。格言 14:2 正直に(*真っすぐに)歩む人はエホバを畏れている。人を欺く(*曲がった)行いをする人は神を軽んじている。

122 番の歌 揺らぐことなく勝利を得る

何を学ぶか*クリスチャンはエホバへの畏れを持つ必要があります。エホバを畏れているなら心を守ることができ、性的不道徳やポルノの誘惑に負けることはありません。この記事では、「格言の書」9章に注目します。そこでは、知恵と愚かさが対照的な2人の女性として描かれています。この章から、今も将来も役立つアドバイスを学ぶことができるでしょう。

1-2. 現代のクリスチャンはロトと同じようにどんな問題を経験していますか。

今の世の中の道徳基準について考えると、私たちは正しい人ロトと同じような気持ちになります。ロトは、お父さんエホバが悪い行いを嫌っていることを知っていたので、「不法な人々の恥知らずな行いに非常に苦しんでい」ました。(ペテ二 2:7, 8そして、不法な人々の恥知らずな行い(ギ語アセルゲイア)に非常に苦しんでいた、正しい人ロトを救い出しました。8 (この正しい人は日々、同じ町に住む人々の不法な行いを見聞きして、苦悩していました。)) でも、エホバを畏れ、愛していたので、周りの人たちの低い道徳基準に染まってしまうことはありませんでした。私たちもエホバの基準を守ろうとしない人たちに囲まれて生活しています。それでも、エホバを愛し、畏れているなら、道徳的に清い人であることができます。(格 14:2 正直に(*真っすぐに)歩む人はエホバを畏れている。人を欺く(*曲がった)行いをする人は神を軽んじている)

2 エホバは、この点で役立つアドバイスを「格言の書」に収めてくださっています。年齢や性別に関係なく、全てのクリスチャンはここから大切なことを学べます。

エホバへの畏れは私たちを守る



職場にいる時、エホバを愛していない人と親しくなったり良くない誘いを受け入れたりしないよう注意する必要がある。

(3 節を参照。)

3. [格言 17 章 3 節](#)によると、私たちが心を守るべきなのはどうしてですか。（写真も参照。）

3 私たちが心を守ることはどうして大切でしょうか。エホバは心を調べる方です。人の見えるところではなく、内面に注目しています。（[格言 17:3](#) るつぼは銀のため、炉は金のため、エホバは心を調べる方であるを読む。）永遠の命につながるエホバの教えについていつも考えている人は、エホバから愛されます。（[ヨハ 4:14](#) しかし、私が与える水を飲む人は決して喉が渇くことがなく、私が与える水はその人の中で泉となって、永遠の命を与える水を湧き上がらせます）サタンやサタンの世界が広めている不道德な行いやうそに影響されてしまうことはありません。（[ヨハ 5:18, 19](#) 私たちが知っている通り、神から生まれた人は皆、罪を犯し続けません。神から生まれた方(神の子イエス・キリストのこと)がその人を見守るので、邪悪な者(サタンのこと)がその人を捕らえることはできません。19 私たちが知っている通り、私たちは神から出ていますが、全世界は邪悪な者(サタンのこと)の支配下にあります）エホバのことを身近に感じるようになればなるほど、エホバへの愛や敬意が深まっていきます。お父さんエホバを悲しませたくないと思うので、罪を犯すことについて考えることさえしません。何かの誘惑を受けた時には、「これほど愛してくださっているエホバを悲しませることになってもいいのだろうか」と考えるようにしましょう。（[ヨハ 4:9, 10](#) 神は独り子を世に遣わし、その方によって私たちが命を得られるようにしてくださいました。このことから、神が私たちを愛してくださっていることが明らかになりました。10 私たちが神を愛したというより、神が私たちを愛し、私たちの罪を償う(*私たちを神と和解させる)犠牲としてご自分の子を遣わしてくださいました。これこそが愛です）

4. ある姉妹にとって、エホバへの畏れはどのように助けになりましたか。

4 クロアチアのマルタ姉妹は、不道德なことを行いそうになったことがありました。*一部の名前は変えてあります。こう書いています。「理性的に考えるのは大変でした。間違ったことをしたいという気持ちに負けそうになりました。でも、エホバへの畏れの気持ちが助けになりました」。どのようにでしょうか。姉妹は、悪い決定をしたらどんな結果になるかをじっくり考えました。私たちも同じようにすることができます。エホバをがっかりさせ、エホバに仕え続けられなくなってしまうとしたら、本当に悲しいことではないでしょうか。（[創 6:5, 6](#) そのため、エホバは、地上の人々がひどく邪悪で、考え方全てが常に悪いのを見た。6 エホバは、地上に人を造ったことを嘆き(*悔やみ)、悲しんだ(*心に痛みを感じた)）

5. レオ兄弟の例からどんなことを学べますか。

5 エホバを畏れているなら、悪い行いを一切避けるように努力します。コンゴ民主共和国のレオ兄弟は、このことの大切さを学びました。バプテスマを受けた 4 年後、兄弟は悪い友達と関わるようになりました。自分自身が悪いことを行っていないければ、エホバに罪を犯していることにはならない、と考えていました。でもすぐに友達の悪い影響を受けて、アルコールにおぼれ、不道德なことを行うようになってしまいます。やがて、クリスチャンの親から教わったことや、以前の幸せな日々についてじっくり考えるようになり、再び正しい考え方ができるようになりました。そして、長老たちに助けてもらい、エホバの元に戻ることができました。今では、長老また特別開拓者として奉仕を楽しんでいます。

6. これからどんな 2人の女性について考えていきますか。

6 では、格言 9 章 真の知恵は家建てた。7 本の柱を切り出した。2 肉をしっかり用意し、ぶどう酒に香料を混ぜ、食卓も整えた。3 召し使いの女性たちを遣わした。町の高台から呼び掛けるためである。4 「経験のない人は誰でもこちらに来なさい」と。知恵は、分別のない(d*心が欠けている)人に言う。5 「来て、私のパンを食べ、私が香料を混ぜたぶどう酒を飲みなさい。6 未熟さを捨てて(*経験のない人たちを後に残して)、生きなさい。理解の道を前進しなさい」。7 あざける人を正すなら、恥をかき、悪人を戒めるなら、けがをする。8 あざける人を戒めるな。さもないと、その人はあなたを憎む。賢い人を戒めよ。そうすれば、その人はあなたを愛する。9 賢い人に伝えよ。その人はさらに賢くなる。正しい人を教えよ。その人はさらに知識を得る。10 知恵はエホバへの畏れから始まる。最も聖なる方についての知識が理解を与える。11 知恵によって、あなたの日々は多くなり、あなたは長く生きられる。12 あなたが賢くなるなら、それは自分自身のためである。あざける人になるなら、自分一人で責任を負う。13 愚かな女性は騒がしい。浅はかで、何一つ知らない。14 自分の家の入り口に、町の高い所にある席に座り、15 通っていく人たちに、道を真っすぐ進んでいく人たちに呼び掛ける。16 「経験のない人は誰でもこちらに来なさい」と。そして、分別のない(d*心が欠けている)人たちに言う。17 「盗んだ水は甘く、こっそり食べる物はおいしい」。18 彼らは、死んだ無力な人たちがそこにおり、彼女の客が墓(へ語シェオル)の底にいることを知らないを調べてみましょう。その中では、**知恵**と**愚かさ**が **2人の女性に例え**られています。(ローマ 5:14 それでも死は、アダムからモーセに至るまで、王として支配しました。アダムの違反と同様の罪を犯さなかった人に対してもです。アダムには、来ることになっていた方との類似点がありました、ガラテア 4:24 この出来事には別の意味があります。この女性たちは2つの契約を表しています。1つはシナイ山で結ばれ、奴隷となる子供たちを生み出す契約で、ハガルがこれに相当しますと比較。) **サタンの世界**は、**性的な不道德**や**ポルノ**であふれています。(エフエ 4:19 道德感覚がまひしていて、恥知らずな行い(*ギ語アセルゲイア)にふけり、あらゆる汚れた事柄を食欲なまでに行います) それで、**エホバへの畏れの気持ちを強め**、**悪いことから離れていることはとても大切**です。(格 16:6 揺るぎない愛と忠実さを示すこと(へ語では、神が揺るぎない愛を示して支え続けること、とも読める)によって、過ちは贖われ、エホバへの畏れによって、人は悪から遠ざかる) 男性であっても女性であっても、私たち全ては格言 9 章から大切な点を学べます。**2人の女性**はどちらも、「**分別のない人たち**」を招待しています。いわば、「**私の家に来て一緒に食事をしましょう**」と言っているかのようです。(格 9:1 真の知恵は家建てた。7 本の柱を切り出した、**5, 6** 来て、私のパンを食べ、私が香料を混ぜたぶどう酒を飲みなさい。6 未熟さを捨てて(*経験のない人たちを後に残して)、生きなさい。理解の道を前進しなさい、**13** 愚かな女性は騒がしい。浅はかで、何一つ知らない、**16, 17** 「経験のない人は誰でもこちらに来なさい」と。そして、分別のない(d*心が欠けている)人たちに言う。17 「盗んだ水は甘く、こっそり食べる物はおいしい」) でも、**どちらの家に行くかによって結果は大きく変わって**きます。

愚かな女性の誘いを退ける



「愚かな女性」の誘いを受け入れるなら、**悲惨な結果**になる。(7 節を参照。)

7. 格言9章13-18節によると、愚かな女性の誘いに応じる人はどうなりますか。（挿絵も参照。）

7 「**愚かな女性**」の**誘い**について考えてみましょう。（格言9:13-18 愚かな女性は騒がしい。浅はかで、何一つ知らない。14 自分の家の入り口に、町の高い所にある席に座り、15 通っていく人たちに、道を真っすぐ進んでいく人たちに呼び掛ける。16 「**経験のない人は誰でもこちらに来なさい**」と。そして、**分別のない**(d*心が欠けている)人たちに言う。17 「**盗んだ水は甘く、こっそり食べる物はおいしい**」。18 彼らは、**死んだ無力な人たちがそこにおり、彼女の客が墓(へ語シェオル)の底にいることを知らない**を読む。) この女性は**分別のない人たちに**、「**こちらに来[て]**」一緒に楽しむようにと呼び掛けています。この誘いに応じる人は**どんな結果**になるのでしょうか。「**死んだ無力な人たちがそこに[いる]**」と書かれています。「格言の書」の前の方の章でも、似たような表現があります。「**いかがわし[く]不道德な女性**」について、「**彼女の家は死へと沈[む]**」と書かれています。（格2:11-19 思考力があなたを見守り、識別力があなたを保護する。12 あなたを次のものから救い出すためである。悪い道から、墮落した事柄を話す人から、13 真っすぐな道を離れて闇の道を歩む人たちから、14 悪を行うことを喜んで、墮落した悪い事柄を楽しむ人たちから。15 彼らの道はゆがんでおり、どこまでもねじ曲がっている。16 こうしてあなたは、**いかがわしい**(d*よその。道徳面で神に従っていない人のことと考えられる)女性から、**不道德な**(d*外国の。道徳面で神から離れている人のことと考えられる)女性の**甘い**(*誘惑の)言葉から、救い出される。17 その女性は若い時の夫(d*親友)を捨て、自分の神との契約を忘れている。18 彼女の家は死へと沈み、彼女の道は死んだ無力な人たちに行き着く。19 **彼女のもとに行く**(*と関係を持つ)人は誰も帰ってこない。命の道に戻って来ることもない) また、格言5章3-10節 **いかがわしい**(d*よその。道徳面で神に従っていない人のことと考えられる)女性の唇は蜜を滴らせ、彼女の口は油より滑らかである。4 しかし結局は、彼女はニガヨモギのように苦く、両刃の剣のように鋭い。5 **彼女の足は死へと下る**。その歩みは真っすぐ墓(へ語シェオル)に向かう。6 彼女は命の道について全く考えない。さまよい歩き、行き着く先を知らない。7 私の子供たちよ、今、私の言うことを聞きなさい。私の言葉から離れてはならない。8 彼女から遠く離れていよ。**彼女の家の入り口に近づいてはならない**。9 自分の評判を落としたり 悲惨な日々を過ごすことになったりしないため、10 知らない人たちがあなたの資産(*力)を使い果たしてしまったり、あなたが働いて得たものが、外国人の家のものとなったりしないためである)でも、「**いかがわしい女性の.....足は死へと下る**」と警告されています。

8. 私たちはどんな選択をする必要がありますか。

8 「**愚かな女性**」の声が聞こえてきたなら、その**誘いに応じるか退けるか**を**決めなければ**なりません。**性的に不道德なことをするように誘惑**を受けたり、**ポルノが突然目に飛び込ん**できたりした時、私たちはどうするのでしょうか。

9-10. 性的に不道德な行いを避けるべきなのはどうしてですか。

9 性的に不道德な行いを避けるべきなのはどうしてでしょうか。「**愚かな女性**」は、「**盗んだ水は甘[い]**」と言っています。この「**盗んだ水**」とは何でしょうか。聖書は、**夫婦の性関係を爽やかな水**に例えています。（格5:15-18 あなた自身の水ためから水を、あなた自身の井戸から湧き出る水(*新鮮な水)を飲め。16 あなたの泉が家の外に、あなたの水の流れが広場に まき散らされてよいだろうか。17 それをあなただけのものとし、知らない人のものとしてはならない。18 あなたの泉(*水源)に祝福があってほしい。あなたは若い時からの妻と喜ぶように) **正式に結婚した夫婦だけが性的な親密さを楽しむ**ことができます。しか

し、「盗んだ水」はそれとは全く違います。これは正しくない性関係を指しているようで、多くの場合隠れて行われます。泥棒が人目を避けて家に忍び込むのによく似ています。誰にも気付かれていないと思っているなら、「盗んだ水」は甘く感じるかもしれません。でも実際には、エホバが全てを見えています。エホバに嫌われてしまうとしたら、それ以上に悲しいことはありません。とても大きなものを失うことになるのです。(コリ 6:9, 10 正しくない人が神の王国を授けられることはない、ということを知らないのですか。思い違いをして(*だまされて)はなりません。性的に不道徳な人(*), 偶像を崇拝する人, 姦淫をする人, 同性愛行為に身を任せる人(同性愛行為において女役をする男性のことと考えられる), 同性愛にふける人(d*男性と寝る男性。同性愛行為において男役をする男性のことと考えられる), 10 盗む人, 貪欲な人, 酩酊する人, ののしる人, 脅し取る人が神の王国を授けられることはありません) 考えるべき点はほかにもあります。

10 性的に不道徳なことを行いうなら、恥ずかしい気持ちや自分には価値がないという気持ちになるかもしれません。望まないのに妊娠したり、家庭が崩壊したりすることもあります。命に関わる病気になることさえあるでしょう。(格 7:23 ついには矢が彼の肝臓を刺し通す。わなに飛び込む鳥のように、自分が命を失うことになるのを知らない、26 彼女によって多くの人が命を落とした。彼女が殺した人は数知れない) 格言 9 章 18 節の最後には、「彼女の客が墓の底にいる」とあります。ですから、愚かな女性の「家」に行かないのは本当に賢いことです。では、大勢の人が悲劇をもたらすこの誘いに応じてしまうのはどうしてでしょうか。(格 9:13-18)

11. ポルノがとても有害なのはなぜですか。

11 多くの人はポルノのわなにはまっています。ポルノは無害だと考える人もいますが、実際には有害です。自分や他の人の尊厳を傷つけます。中毒性があるので、見るのをやめるのはかなり大変です。不道徳な画像は頭に残り、なかなか消すことができません。さらに、ポルノは間違った欲望を膨れ上がらせてしまいます。(コロ 3:5 ですから、性的不道徳(ギ語ポルネイア), 汚れ, 奔放な性欲, 有害な欲望, また貪欲つまり偶像崇拝に陥らないよう、地上の体の各部をいわば殺しなさい。ヤコ 1:14, 15 人はそれぞれ、自分の欲望に引かれて惑わされる(*餌によるかのように捕らわれる)ことにより、試されるのです。15 欲望は膨れ上がった(d*身ごもった)時に罪を生みます。そして、罪は犯された時に死をもたらします) 実際、ポルノを見る多くの人が不道徳なことを行うようになっています。

12. 不道徳な欲望を湧き上がらせないために、どんなことができますか。

12 クリスマンである私たちは、ポルノが目飛び込んできたならどうすべきでしょうか。すぐに目を背けるべきです。エホバとの友情が一番大事だということをいつも意識しているなら、こうしたきっぱりとした行動を取ることができます。一般的にはポルノと考えられていない画像であっても、不道徳な欲望を湧き上がらせる場合があります。そうしたものも避けるべきなのはなぜでしょうか。たとえ小さなことであっても、心の中で姦淫を犯すことにつながるようなことはしたくない、と思っているからです。(マタ 5:28, 29 しかし私は言います。女性を見続けて情欲を抱く人は皆、すでに心の中で姦淫をしたのです。29 そこで、もし右目があなたに罪を犯させているなら、えぐり出して捨て去りなさい。体の一部を失う方が、全身をゲヘナに投げ込まれるよりは、よいのです) タイで長老として奉仕しているデービッド兄弟はこう言います。「『これはポルノではないかもしれないけれど

、見続けるならエホバは喜ぶだろうか』と考えるようにしています。そうすることで、良い決定ができています」。

13. 賢く行動するためには何が必要ですか。

13 エホバを悲しませたくないという気持ちがあるなら、賢く行動することができます。聖書に、「知恵はエホバへの畏れから始まる」と書かれている通りです。（格 9:10 知恵はエホバへの畏れから始まる。最も聖なる方についての知識が理解を与える）この点は、格言 9 章の初めの方で説明されています。そこでは、「真の知恵」が別の女性として描かれています。

賢い女性の招待を受け入れる

14. 格言 9 章 1-6 節には、どんな招待について書かれていますか。

14 格言 9:1-6 真の知恵は家を建てた。7本の柱を切り出した。2 肉をしっかりと用意し、ぶどう酒に香料を混ぜ、食卓も整えた。3 召し使いの女性たちを遣わした。町の高台から呼び掛けるためである。4 「経験のない人は誰でもこちらに来なさい」と。知恵は、分別のない(d*心が欠けている)人に言う。5 「来て、私のパンを食べ、私が香料を混ぜたぶどう酒を飲みなさい。6 未熟さを捨てて(*経験のない人たちを後に残して)、生きなさい。理解の道を前進しなさい」を読む。これは、創造者であり全ての知恵の源である、エホバからの招待です。（格 2:6 エホバご自身が知恵を与えてくださるからである。神の口から知識と識別力が出る。ロマ 16:27 ただひとり知恵のある神が、イエス・キリストを通して永遠にたたえられますように。アーメン）ここに出てくる家は、7本も柱がある大きな家です。ここから、エホバが惜しみなく与える方だということが分かります。エホバは、役立つ知恵を求める人たちを喜んで迎え入れてくださいます。

15. 私たちにはどんな招待が差し伸べられていますか。

15 「真の知恵」を表している女性の様子からも、エホバが惜しみなく与えてくださる方だということが分かります。この女性は、肉をしっかりと用意し、ぶどう酒に香料を混ぜ、食卓も整えました。（格 9:2 肉をしっかりと用意し、ぶどう酒に香料を混ぜ、食卓も整えた）さらに、9 章 4, 5 節「経験のない人は誰でもこちらに来なさい」と。知恵は、分別のない(d*心が欠けている)人に言う。5 「来て、私のパンを食べ、私が香料を混ぜたぶどう酒を飲みなさい」にはこうあります。「知恵は、分別のない人に言う。『来て、私のパンを食べ.....なさい』」。この賢い女性の招待を受け入れるべきなのは どうしてでしょうか。エホバはご自分の子供たちに賢く歩んでほしいと思っています。間違いを通して学ぶようなつらい学び方をしないように守りたいと思っています。それで、エホバは「正直な人のために、役立つ知恵を蓄え」ています。（格 2:7 神は正直な人のために、役立つ知恵を蓄え、高潔に(*忠誠を尽くして)歩む人のための盾となる）エホバを畏れているなら、エホバに喜ばれることをしたいと思うはずです。エホバからのアドバイスに耳を傾け、喜んで当てはめます（ヤコ 1:25 しかし、自由をもたらす完全な律法をじっくり見て守る人は、聞いてすぐに忘れるのではなく、行動します。そのような人は幸せになります

16. アラン兄弟が賢い決定をする上で、エホバへの畏れはどのように助けとなりましたか。どんな結果になりましたか。

16 エホバへの畏れは、賢い決定をする上でどのように助けとなるでしょうか。長老で学校の教師をしているアラン兄弟の例を考えてみましょう。兄弟はこう言います。「同僚の多くは、ポルノ映画も性教育の一部だと考えていました」。でも、兄弟はこの間違った考え方に影響されることはありませんでした。さらにこう言っています。「エホバを悲しませなくなかった」ので、そうした映画を一切見ないようにしました。そして、その理由について同僚に説明しました。兄弟は、「真の知恵」の声に耳を傾け、「理解の道を前進しなさい」というアドバイスを当てはめたのです。（格 9:6 未熟さを捨てて(*経験のない人たちを後に残して)、生きなさい。理解の道を前進しなさい) 何人かの同僚は、兄弟のきっぱりとした態度に感心し、聖書レッスンを始め、集会にも出席するようになっていきます。



「真の知恵」の招待を受け入れるなら、いつまでも幸せでいられる。（17-18 節を参照。）

17-18. 「真の知恵」の招待を受け入れるなら、どんな素晴らしい経験ができますか。（挿絵も参照。）

17 エホバは 2 人の女性の例えを使って、どうすれば幸せになれるかを教えてくれています。騒がしく「愚かな女性」の招待を受け入れる人は、不道德な行いから喜びを得ようとしします。そうした人は、今が楽しければいいと考え、将来のことなど気に留めていません。でも、最終的には「墓の底」に下ることになります。（格 9:13 愚かな女性は騒がしい。浅はかで、何一つ知らない、17, 18 「盗んだ水は甘く、こっそり食べる物おいしい」。18 彼らは、死んだ無力な人たちがそこにおり、彼女の客が墓(へ語シェオル)の底にいることを知らない)

18 一方、「真の知恵」の招待を受け入れる人たちは、幸せを味わうことができます。今、エホバとの絆を強めるのに必要なものがふんだんに与えられています。栄養豊かで美しく盛り付けられた料理が目の前に並んでいるかのようです。（イザ 65:13 そのため、主権者である主エホバはこう言う。「私に仕える者たちは食べるが、あなたたちは飢える。私に仕える者たちは飲むが、あなたたちは喉が渇く。私に仕える者たちは喜ぶが、あなたたちは恥をかく」）エホバはイザヤを通してこう言っています。「私の言うことを一心に聞き、良い物を食べなさい。そうすれば、本当に豊かな物を大いに喜べる」。（イザ 55:1, 2 喉が渇いている全ての人たち、水のある所に来なさい！ お金がない人たち、来て、買って食べなさい！ 来て、無償で、お金を払わずにぶどう酒とミルクを買いなさい。2 あなたたちはなぜ、パンではない物のためにお金を払い続けるのか。なぜ、満足できない物のために稼ぎ(*苦労して稼いだお金)を費やしているのか。私の言うことを一心に聞き、良い物を食べなさい。そうすれば、本当に豊かな物(d*肥えた物)を大いに喜べる) 私たちは、エホバが愛するものを愛し、エホバが憎むものを憎むよう教えられています。（詩 97:10 エホバを愛する人たち、悪を憎め。神はご自分に尽くす(*を揺るぎなく支持する/から離れない)人たちの命を守っている。その

人たちを悪人の手から助け出す) また、「**真の知恵**」を**学ぶよう人々に勧める**ことから**喜びを**味わっています。**まるで**、「**町の高台から.....『経験のない人は誰でもこちらに来なさい』**」と呼び掛けているかのようです。でも、**私たちが味わっている喜びは****今だけのものではありません**。**永遠に生**きて、「**理解の道を前進し**」ていくことができるのです。(格 9:3, 4 召し使いの女性たちを遣わした。町の高台から呼び掛けるためである。4 「経験のない人は誰でもこちらに来なさい」と。知恵は、分別のない(d*心が欠けている)人に言う、**6 未熟さを捨てて(*経験のない人たちを後に残して)**, **生きなさい**。理解の道を前進しなさい)

19. [伝道の書 12 章 13, 14 節](#)からすると、どうすることが大切ですか。(「[エホバへの畏れがあるなら...](#)」の囲みも参照。)

19 [伝道の書 12:13, 14](#) 全てを聞いた今、結論はこうだ。**真の神を畏れ、その方のおきてを守りなさい。人の務めはそれに尽きる**。14 真の神は、人からは見えない事も含め、あらゆる行いについて、その善悪を裁くからだを読む。では、これからも**エホバへの畏れの気持ちを強めて**いしましょう。そうするなら、この**邪悪な終わりの時代の中**でも**エホバとの友情を守**ることができます。**心を守り、道徳的に清い人**でいることもできます。そして、この**畏れの気持ち**は、「**真の知恵**」について**学ぶようできるだけ多くの人**に伝えていく力ともなるでしょう。

エホバへの畏れがあるなら...

- **エホバと親しくなれる。** ([詩 25:14](#) エホバは、ご自分を畏れる人を親しい友とし、契約を知らせる。[ヘブ 5:7](#) キリストは、地上で生きていた(d*肉体でいた)間、自分を死から救える方に祈願を捧げ、願ひ(*請願)を伝えました。大きな声で叫び、涙を流しながらそのようにし、**神への畏れゆえに聞き入れられました**)
- **エホバに従いたいと思うようになる。** ([詩 112:1](#) ヤハを賛美せよ(*ハレルヤ。ヤハはエホバの短縮形)！エホバを畏れる人は幸せだ。その人は**神のおきてをととても喜ぶ**)
- **悪を憎み、謙遜で賢い人になれる。** ([ヨブ 28:28](#) そして人に言った。『エホバを畏れること、これが知恵。悪から離れること、これが理解力』。[格 8:13](#) エホバを畏れるとは悪を憎むことである。私は、思い上がりや誇り、悪い道、偽りを憎む)
- **正しいことを行う勇氣を持てる。** ([出 1:15-17](#) その後エジプトの王は、シフラとプアというヘブライ人の助産婦に話し、16 こう命じた。「ヘブライ人の女の出産を助ける時、よく見て、男の子であれば殺せ。女の子であれば生かしておけ」。17 しかし助産婦たちは**真の神を畏れていた**ので、エジプトの王が命じた通りにはせず、男の子も生かしておくのだった、[21](#) **その女性たちは真の神を畏れていたため、神は家族を授けた**)
- **親切で信頼できる人になれる。** ([ネへ 5:15](#) 私よりも前の総督たちは、民に負担を掛け、毎日パンとぶどう酒のために 460 グラムの銀を民から取っていた。彼らの従者たちも民を圧迫していた。しかし私は、**神を畏れるゆえに**そうはしなかった。[7:2](#) また、私の兄弟ハナニと要塞の長ハナニヤにエルサレムを治めるよう命じた。ハナニヤはととても信頼できる人で、ほかの人たちよりも**真の神を畏れていた**)

1. エホバへの恐れによって、どのように心を守ることができますか。

- ・S03 永遠の命につながるエホバの教えについていつも考えている人は、エホバから愛され、サタンやサタンの世界が広めている不道德な行いやうそに影響されてしまうことはない。エホバのことを身近に感じるようになればなるほど、エホバへの愛や敬意が深まっていき、お父さんエホバを悲しませたくないと思うので、罪を犯すことについて考えることさえしないので心を守れる
- ・S04 悪い決定をしたらどんな結果になるかをじっくり考えるなら、エホバをがっかりさせ、エホバに仕え続けられなくなってしまうことを避けるよう助けられる。

2. どうすれば「愚かな女性」からの誘いを退けることができますか。

- ・S09 「愚かな女性」が勧める「甘[い]盗んだ水」は正しくない性関係を指しているようで、多くの場合隠れて行われ、甘く感じるかもしれないが、実際にはエホバが全てを見ておられて、エホバに嫌われてしまう結果になること考えるなら、避ける大切さが分かる。
- ・S10 他にも、恥ずかしい気持ちや自分には価値がないという気持ちになったり、望まないのに妊娠したり、家庭が崩壊したり、命に関わる病気になるといった代償についても考えるべき
- ・S11 多くの人がポルノのわなにはまってしまうのは、中毒性があり、不道德な画像は頭に残りなかなか消すことができず、ポルノが間違った欲望を膨れ上がらせてしまうため。非常に危険
- ・S12 クリスマスは、ポルノが目飛び込んできたなら、すぐに目を背けるというきっぱりとした行動を取るべき。さらに一般的にはポルノと考えられていない画像でも、不道德な欲望を湧き上がらせる場合があるので、そうした危険も注意深く予知して避けるべき

3. 「真の知恵」の招待を受け入れるなら、どんな良い結果になりますか。

- ・S17-18 「真の知恵」の招待を受け入れる人たちは、永続的な真の幸せを味わうことができる。また「真の知恵」を学ぶよう人々に勧めることから喜びを味わえる

127 番の歌 私はどんな人になるべきだろうか

△ クリスマスはエホバへの恐れを持つ必要があります。エホバを畏れているなら心を守ることができ、性的不道德やポルノの誘惑に負けることはありません。この記事では、「格言の書」9章に注目します。そこでは、知恵と愚かさが対照的な2人の女性として描かれています。この章から、今も将来も役立つアドバイスを学ぶことができますでしょう。

△ 一部の名前は変えてあります。

△ (格 14:2) 正直に(*真っすぐに)歩む人はエホバを畏れている。人を欺く(*曲がった)行いをする人は神を軽んじている。